

08

11月2017

九州がんセンター とう やすし 藤 也寸志院長から 応援メッセージを寄稿いただきました

全2ページ

“がんばって、元気隊！”

私が、“がん・バツテン・元気隊”の名前を知ったのは、2009年に九州がんセンターの統括診療部長になった頃だったかと思います。

当時は、がん対策基本法に基づいて<第1期がん対策推進基本計画>が策定され、九州がんセンターが福岡県の都道府県がん診療連携拠点病院(がん拠点病院)に指定された頃と一致しています。それまで、消化器外科部長として日々がんの手術に明け暮れていた私は、がん拠点病院の活動として「がんの地域連携クリティカルパス」の導入の福岡県の責任者をしていた関係で、がん患者会の方々とお会いする機会が増えていきました。

そのような中、福岡県のがん患者会のネットワークを作ろうと必死に努力されている波多江伸子さんにお会いし、それからいろいろな場面で一緒に講演や意見交換などを行ってきました。

私は、2015年7月に九州がんセンターの院長を拝命しましたが、その前後から九州がんセンターにおける“がん・バツテン・元気隊”の活動にお力添えをしてきました。九州がんセンターは、2016年3月に全面建替えの新病院をオープンさせました。

そこでは、病院入口を入ったすぐの場所に、がん相談支援センター・患者図書室・入院支援センター・アピアランスケアルームに加えて、患者会の方に自由に使っていただける“患者サロン”を作り、全体を『患者・家族支援センター』として運営しています。



九州がんセンター院長 藤 也寸志

“がん・バッテン・元気隊”には、その患者サロンで、毎週水曜日に<元気隊サロン「かたらんね」>を開催していただいています。開催日には、院内放送で患者さん方の参加を呼びかけており、少しずつ参加者が増えてきているとお聞きしています。

また、“がん・バッテン・元気隊”は、ピアサポーター養成にも力を入れられており、九州がんセンターも、厚生労働省の委託事業の時から研修場所の提供や医師・看護師などの講義などで協力してきました。

先程、「お力添えをしてきた」と書きましたが、今やがん医療を向上させるための“パートナー”として、ご協力をいただいているとも言えるのではないかと思います。

最近、閣議決定されたばかりの<第3期がん対策推進基本計画>では、がん患者会との連携の必要性が記されています。

私は、現在、厚生労働省の「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」の構成員をしており、全国の多くのがん患者会の方々とお話をする機会がありますが、医療者とがん患者・家族が“協働”して、がん医療の質を向上させていく必要があると感じています。

そのためには、多くのがん患者会のネットワークを構築している“がん・バッテン・元気隊”は、信頼できるがん患者会として“がんばって”いただきたいですし、私たちもパートナーとして支援していきたいと思っています。



▲▼九州がんセンターでの元気隊サロン風景



福岡がん患者団体ネットワーク
がん・バッテン・元気隊

電話 090-9591-7469 (10:00~22:00)

FAX 092-873-2372

E-mail <http://ganbatten.info/contact.html>